

研究機関名：東北大学

受付番号：2013-1-131
研究課題名 アルドステロン産生腺腫における ATP1A1 及び ATP2B3 遺伝子変異の解析
研究期間 西暦 2013 年 6 月（倫理委員会承認後）～2015 年 3 月
対象試料 ■病理試料（対象臓器名 副腎） □生検試料（対象臓器名 ） □血液試料 □遊離細胞 □その他（ ）
上記試料の採取期間 西暦 2007 年 4 月～2013 年 5 月
意義、目的 原発性アルドステロン症の一病型であるアルドステロン産生腺腫は副腎手術により完治する疾患であり、本症の発症機序などが解明されることが期待されている。2013 年にアルドステロン産生腺腫に発現する ATP 加水分解酵素である ATP1A1 及び ATP2B3 の各遺伝子の変異が認められることが報告された。東北大学病院で手術治療を行ったアルドステロン産生腺腫における同遺伝子の変異を解析することで、本症の病態解明の一助となることが期待される。
方法 当院泌尿器科で副腎手術を施行し、病理部にてアルドステロン産生腺腫と診断され、既に凍結保存してある組織標本及び今後の副腎手術により得られる同標本を対象に、組織中の RNA より ATP1A1 及び ATP2B3 遺伝子の相補的 DNA を増幅し、これの塩基配列を解析して、同遺伝子の変異が存在するか調べます。塩基配列の解析作業は、共同研究機関であるミシガン大学にて行われます。
問い合わせ等の窓口  東北大学病院 腎・高血圧・内分泌科 講師 佐藤文俊 電話 022-717-7163 FAX 022-717-7168